

# しょう 笑 うん

第46号  
発行  
平成22年4月11日

**祥雲館**  
社会福祉法人 桃林会  
〒563-0101  
大阪府豊能郡豊能町吉川187-1  
TEL: 072-733-2301  
FAX: 072-733-2303



## 特養での主体性を 引き出す介護について

特別養護老人ホーム(特養)で生活している方の、平均介護度は、3.7で、ベッドから車椅子への乗り移りに介助が必要な方、移動に車いすを使用されている方がほとんどです。

これまで特別養護老人ホームの職員は、介助が必要な方に対し、特に入浴や排泄の場面で介護する側が主

体となって生活を支えていました。

しかし、祥雲館では、介護保険制度の本旨である『利用者本位』に立ち返り、介護者主体から利用者主体への援助のあり方を模索し、『主体性を引き出す介護』への取り組みをすすめています。

利用者の方が、一日一日

生活を送るなかで、その方が持っている『力』を發揮してもら

うこと、それが、『主体性を引き出す介護』だと考えています。

では、具体的にどのようなことをしているのか、それはお一人お一人がお持ちになっている『力』に『気づく』ことから始め、その『力』を生かした

援助方法を工夫するという事です。

お一人お一人がお持ちの『力』は異なり、何がしたいのか、何ができるのかも異なります。それらを踏まえ、介助方法を工夫し、必要な道具を取り入れ、その方だけの援助(介護)を実践しています。

排泄では、しっかりと座ることができれば、トイレでの排泄は可能ですし、その時、立つてもうることができれば、安心・安楽に介助し、自然に排泄していただいています。

入浴では、家庭にある普通のお風呂(個浴)を取り入れ、単に清潔のためだけの入浴ではなく、入浴そのものを楽しんでいただいております。

手や足を動かすことができる方は、タオルたたみなど、日常にある生活行為をごく自然にしていただけける環境を作り、当たり前



生活をしていただいています。

自らの力で動くことができる方は、その動きを継続できるように考えていけばよいのですが、身体を動かすことができない方の『主体性を引き出す介護』とは、どのように考えるのか?

それも、動ける方と同じで最初に書いた『その方が持っている力を發揮してもら

うこと』だと考えています。食事が自分では摂れなくても、食べるといふ力(食べたいという意思を尊重)を

發揮してもらう。立つことはできなくても支えて座ることができれば、普通のお風呂(個浴)に入っていたいただいています。今まで機械(寝たまま入るお風呂)で入っていた方も昨年、10月に個浴が導入されてからは、機械ではなく普通のお風呂に入り、入浴を楽しんでいただいています。

排泄でも、おむつ交換の名の、後始末ではなく、支えて座ることができるようはトイレでの自然な排泄を心掛けています。

まだまだ取り組まなければならぬことは多々ありますが、われわれに出来ることを一つ一つ実践し、そのための介護方法を創意工夫しているところです。

特別養護老人ホーム祥雲館では、利用者の方、職員の双方に負担の多い『力任せの持ち上げる』介護方法ではなく、足が床につく方はしっかりとつけてもらう。前屈みになれる方は前屈みなど、その方が持っている力を發揮してもらえる介護方法を実践し、利用者の方の『主体性を引き出せる』ようにがんばっていきます。

特別養護老人ホーム祥雲館  
主任 西村禎雄

## 祥雲館 Cafe 第2回 高齢者福祉を一緒に考えませんか?

祥雲館では、地域の方々住み慣れた町で暮らすことや、支えることを真剣に考えています。しかし、ハンデキャップを抱える高齢者が、地域で暮らしていくことは、非常に難しいことです。地域で暮らすための町づくりには、高齢者の自己決定や住民参加や地域の支え手の確保が必要です。気軽に地域の方々、喫茶しながら意見交換する場(Cafe)を設けました。地域の高齢者が、幸せに暮らせる町づくりに向けて一緒に考えてみませんか?

【日時】平成22年4月17日(土) 10時~12時  
【場所】祥雲館新館 デイルーム  
【会費】200円(懇話会喫茶代)  
【内容】主体性を引き出す介護方法(その2)  
【講師】西村禎雄  
(特別養護老人ホーム 祥雲館 主任 兼 ケアマネージャー)

お申込みは、祥雲館 TEL: 072-733-2301 まで

# 祥雲館アーカイブ

祥雲館で最近起きたことを紹介します。  
当館ホームページのInformation欄からの抜粋です。

- ◆2010.3.15(月)  
○新館・本館にて、消防訓練を行いました。
- ◆2010.3.13(土)  
○グループホームにて、ご家族をお招きして家族会を行いました。
- ◆2010.2.28(日)～3.6(土)  
○昼食に寿司ロボで握り寿司を提供しました。
- ◆2010.2.22(月)  
○吉川保育所の園児達が本館に来館しました。
- ◆2010.2.16(火)  
○グループホームにて外食レク「くら寿司」へ行きました。  
○介護勉強会「リスクマネジメント」を行いました。
- ◆2010.2.14(日)  
○特養ユニットにて100歳の利用者様のお誕生日会を行いました。
- ◆2010.2.13(土)  
○特養ホーム3Fにて、ご家族をお招きして家族会を行いました。
- ◆2010.2.12(金)  
○グループホーム、第三者評価を受けました。
- ◆2010.2.10(水)  
○介護研修「ターミナルケア」(2回目)を行いました。
- ◆2010.2.7(日)  
○特養ホーム2Fユニットたんぽぽにて、ご家族をお招きして家族会を行いました。
- ◆2010.2.3(水)  
○介護研修「ターミナルケア」を行いました。
- ◆2010.1.26(火)  
○デイサービスセンターみずほにて「餅つきイベント」を行いました(^\_^)／
- ◆2010.1.23(土)  
○「祥雲館cafe」を開催しました。地域の皆様、多数のご参加ありがとうございました。
- ◆2010.1.20(水)  
○新館にて、「おでんパーティー」を行いました(温)。
- ◆2010.1.19(火)  
○デイサービスセンターみずほにて、「おでんパーティー」を行いました(温)。
- ◆2010.1.10(日)  
○「笑雲」1月号発行しました。  
○特養ホーム2Fにて食事レク「たこ焼き」をしました。
- ◆2010.1.4(月)～  
○在宅サービス(デイサービス・訪問介護)開始いたしました。
- ◆2010.1.1(金)～  
○「あけましておめでとうございます」元日の昼食はおせち料理を用意し、ご利用者様と一緒に新年を迎えることができました。

祥雲館のホームページ <http://www2.gol.com/users/syownkan/>

次回の発行は平成22年7月11日(日)です

## 吉川保育所来館

### 園児との交流

2月22日月曜日に吉川保育所 3、4歳児の皆さんが、特別養護老人ホームに遊びに来てくれました。利用者さんは園児と一緒に歌を歌ったり、手遊びをして楽しい時間を過ごしました。

利用者さんは園児が近くに来ると身体を動かして園児に近づこうとしたり、手を伸ばして、嬉しそうに園児の手を握ったりされました。園児と最後にお別れで握手する時には、「ありがとう、あ



りがとう。」と普段見せなかったの笑い顔でお礼を言われ、お孫さんが来て帰る時のような表情に見えました。短い時間でしたが利用者さんの表情は穏やかでとても良く、園児たちの力は素晴らしいと感じた交流会でした。



## 100歳のケーキ

祥雲館 管理栄養士 立花恵世

私は、利用者さんが100歳になられた時に、ケーキを焼かせてもらっています。今から5年前に、ある利用者さんが100歳になられた時に焼かせてもらったのが始まりです。

それまで、私は100歳の人に会ったことがなく、お祝いの気持ちを形にしたいと考えて思いついたのがケーキでした。みんなで食べられるようにケーキは大きく、何か思い出に残るようにと一口は100本にしました。

ケーキの準備は順調でしたが、火をつけるのがたいへんで、最初につけた一口は次第にメラメラ燃え出して隣に燃え移り、ケーキのクリームは溶けていきます。それでもなんとか無事に火がつき、メラメラと燃えている100本の一口はとてきれいでした。

「私が100歳になった時は、まな板みたいなケーキ焼いてくれて、一口火事みたいやっとなあ。」とおっしゃいます。それから6回、100歳のケーキを焼かせてもらいました。それぞれ、その方らしい100歳を迎えられ、いつも尊敬と感謝の気持ちでいっぱいになります。ほんの思いつきから始めたことですが、みんなでひとつのケーキのまわりに集まってお祝いできるのは、とてもしあわせな時間です。

ケーキを通じて、みんなひとりではないこと、たくさんの人とつながっていることも伝えたいなと思います。

